

## 交付償還運用報告書

### 受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「グローバル・アンブレラ UBS BRIC」は、2017年12月5日をもちまして信託約款の規定に基づき償還させていただきました。

当ファンドは主としてMSCI BRICインデックスに採用されているブラジル、ロシア、インド、中国の4カ国の企業の株式に実質的に投資を行い、MSCI BRICインデックス（円換算ベース）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行います。当期におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドをご愛顧いただきましたことに対して、厚く御礼申し上げます。

### 第10期末（償還日 2017年12月5日）

償 還 価 額	8,758.64円
純 資 産 総 額	2,702百万円
騰 落 率 <sup>*</sup>	35.2%
分 配 金 合 計	0円

※騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

## グローバル・アンブレラ UBS BRIC

追加型投信／海外／株式／インデックス型

第10期（償還日2017年12月5日）

作成対象期間（2016年12月6日～2017年12月5日）

### UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエア  
イーストタワー

＜お問い合わせ先＞ 投信営業部 03-5293-3700  
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く）

<http://www.ubs.com/japanfunds>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書（全体版）は以下の方法でご覧いただけます。

＜閲覧方法＞

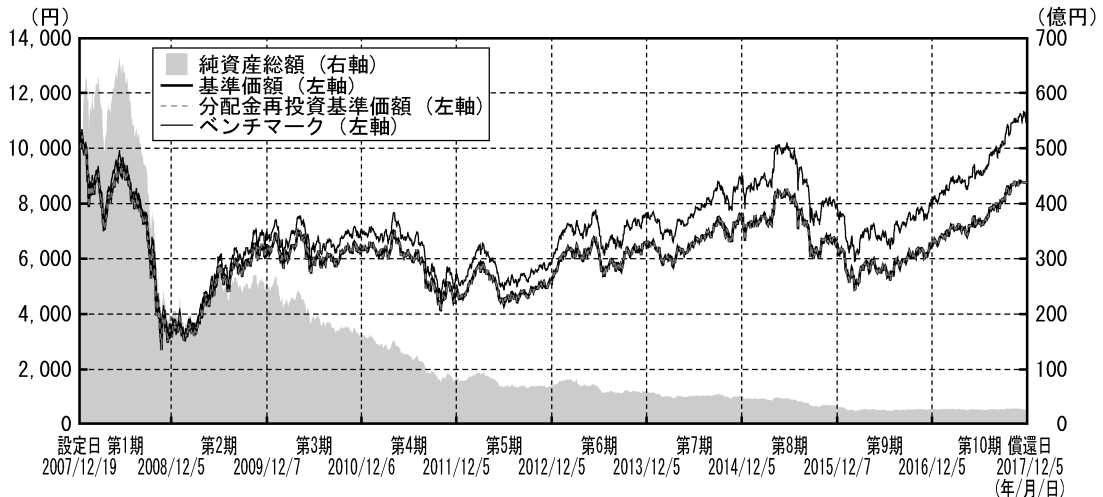
上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名（日経新聞掲載名でも可）を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書（全体版）」のタブをクリック

なお、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

## 運用経過

## 基準価額等の推移について

<基準価額等の推移（2007年12月19日～2017年12月5日）>



第10期首	: 6,476円
第10期末(償還日)	: 8,758.64円(既払分配金 0円)
騰落率	: 35.2%(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、設定日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

■当期（第10期）の基準価額は2,282.64円値上がりしました。なお、基準価額の騰落率は、+35.2%となりました。

<ベンチマークについて>

ベンチマークとは、ファンドの運用を行うに当たり、運用目標の基準あるいはパフォーマンスを評価するための基準です。なお、当ファンドのベンチマークは「MSCI BRICインデックス」を委託会社において円換算した「MSCI BRICインデックス（円換算ベース）」です。当ファンドは同指数に概ね連動する投資成果を目指して運用を行います。

※MSCIインデックスに関する著作権、およびその他知的財産権はMSCI Inc.に帰属します。

## 基準価額の主な変動要因

- 基準価額は、組入れていたマザーファンドの基準価額が上昇したことにより値上がりしました。  
マザーファンドの基準価額の上昇要因は、株価変動（組入株式の上昇）などのプラス（上昇）要因が、為替変動（投資通貨の対円での下落）などのマイナス（下落）要因を上回ったことです。

## 1万口当たりの費用明細

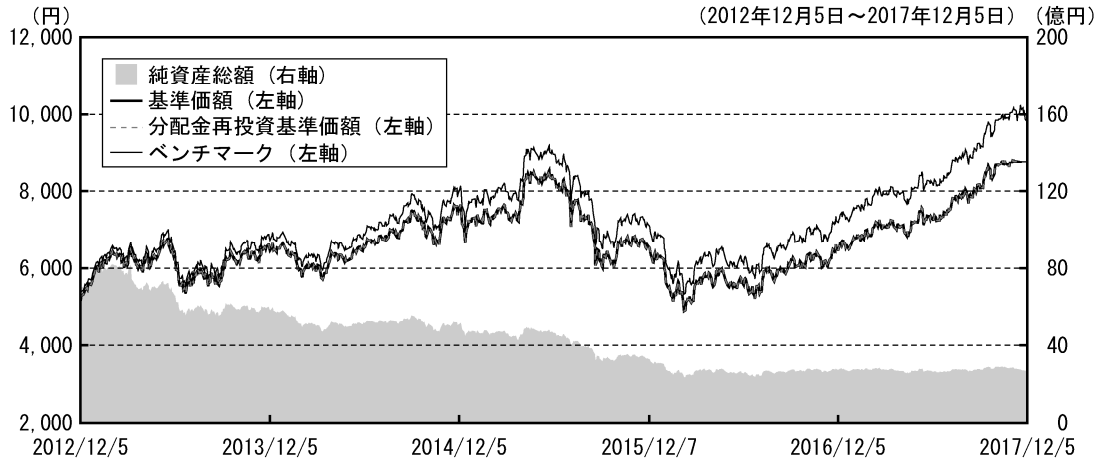
項目	当期 2016/12/6～2017/12/5		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	104円	1.372%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は7,609円です。
（投信会社）	（58）	（0.756）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（41）	（0.540）	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の 情報提供等の対価
（受託会社）	（6）	（0.076）	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
売買委託手数料	3	0.034	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	（3）	（0.034）	株式などを取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	7	0.095	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（株式）	（7）	（0.095）	有価証券売買の都度発生する取引に関する税金
その他費用	55	0.718	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	（43）	（0.565）	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	（2）	（0.023）	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	（1）	（0.012）	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	（9）	（0.118）	外国株式の配当金に係る手数料等
合計	169	2.219	

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

（注2）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注3）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2012年12月5日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注4) 海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

	2012年12月5日 期初	2013年12月5日 決算日	2014年12月5日 決算日	2015年12月7日 決算日	2016年12月5日 決算日	2017年12月5日 償還日
基準価額 (円)	5,161	6,454	7,516	6,541	6,476	8,758.64
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	25.1	16.5	△ 13.0	△ 1.0	35.2
ベンチマーク騰落率 (%)	—	27.8	18.7	△ 11.0	1.2	36.7
純資産総額 (百万円)	6,844	5,819	5,061	3,291	2,755	2,702

- (注) 「分配金再投資基準価額騰落率」、「ベンチマーク騰落率」および「期間分配金合計 (税込み)」は、表中の直前の決算日または期初からの騰落率および分配金合計 (税込み) です。

## 投資環境について

### ■BRIC株式市場

当期のBRIC株式市場は上昇しました。期の序盤は、米国の利上げ実施による米国債金利の上昇を受けて新興国からの資金流出懸念が台頭、BRIC株式市場は下落しました。しかしその後は、世界的な好況とそれに伴う新興国企業の景況感と業績の改善に加えて、BRIC各国の景気刺激策や構造改革の推進、資源価格の安定などが相場を後押しし、BRIC株式市場は上昇基調が継続しました。期末にかけては、中国で共産党大会後の金融引き締め動きへの警戒感が高まったこと、またブラジルでは政治的混乱と年金改革の遅れが懸念されたことなどが重石となって、BRIC株式市場はそれまでの上げ幅を若干縮小しました。

当ファンドのベンチマークであるMSCI BRICインデックス（円換算ベース）についても、期中、円高・投資通貨安となったものの、期初比で大幅に上昇しました。

### 国別株価指数騰落率（現地通貨ベース）

ブラジル	ロシア	インド	中国
21.0%	6.9%	25.4%	46.5%

※株価指数：MSCIインデックス、現地通貨ベース

※出 所：トムソン・ロイターのデータを基に当社作成

## ポートフォリオについて

<当ファンドのポートフォリオについて>

■UBS BRICマザーファンドを高位に組入れました。

<マザーファンドのポートフォリオについて>

■MSCI BRICインデックスに採用されているブラジル、ロシア、インドおよび中国の4カ国の企業の株式を中心に投資を行い、ベンチマークであるMSCI BRICインデックス（円換算ベース）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行ってまいりました。

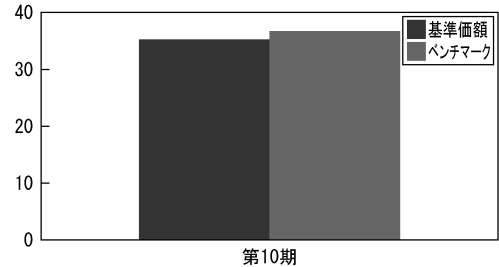
当期も完全法を目標とする現物株式中心のポートフォリオを構築し、ベンチマークの変更（銘柄入れ替え、比率変更など）および、資金の流出入に対応して適宜売買を行い、ベンチマークとの連動性を維持するための調整を実施しました。なお、2017年10月下旬より保有銘柄の売却を順次進め、11月中には資産の現金化を完了しました。

## ベンチマークとの差異について

- 当期中の騰落率は、基準価額の+35.2%に対してベンチマークが+36.7%となり、基準価額の騰落率はベンチマークの騰落率を1.5%下回りました。基準価額の騰落率がベンチマークの騰落率を下回った主な要因は、当ファンドで流動性確保のために資産の一部を短期金融資産で運用したこと、設定・解約に伴う資金の出入りと株式等の売買のタイミングがずれたことや、信託報酬およびその他費用（保管費用等）を負担したことなどです。

## <基準価額とベンチマークの対比（騰落率）>

(%) (2016年12月6日～2017年12月5日)



(注) 基準価額の騰落率は分配金再投資ベース

## 分配金について

- 償還のため分配は行いませんでした。なお、第10期（償還期）までに信託財産中に留保されてきた利益につきましては、償還価額に含みお支払いいたしております。

## お知らせ

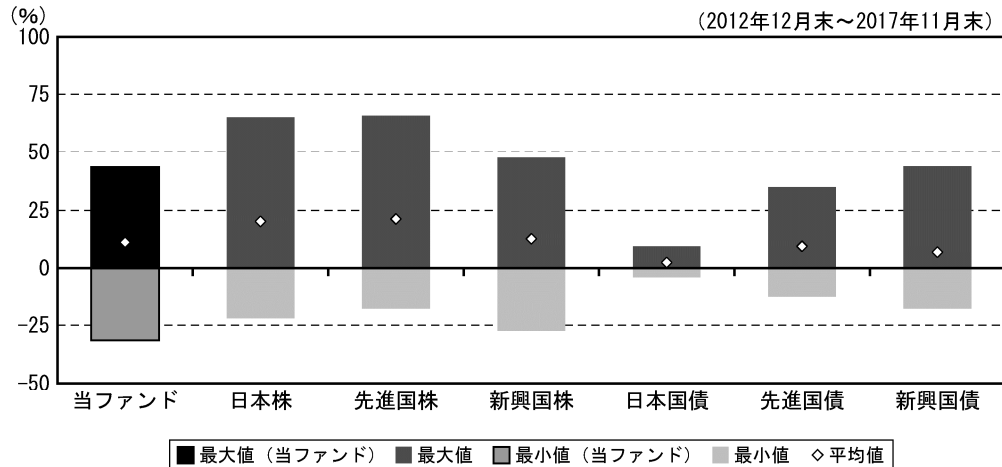
■該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	信託設定日（2007年12月19日）から2017年12月5日まで	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主としてMSCI BRICインデックスに採用されているブラジル、ロシア、インド、中国の4カ国の企業の株式に実質的に投資を行い、MSCI BRICインデックス（円換算ベース）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド ＜グローバル・アンブレラ UBS BRIC＞	UBS BRICマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド ＜UBS BRICマザーファンド＞	MSCI BRICインデックスに採用されているブラジル、ロシア、インド、中国の4カ国の企業の株式を主要投資対象とします。
運用方法	ベビーファンド ＜グローバル・アンブレラ UBS BRIC＞	マザーファンドの組入れは原則として高位を維持します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 リスク軽減のためデリバティブ取引を行うことがあります。
	マザーファンド ＜UBS BRICマザーファンド＞	投資成果をベンチマークであるUBS BRICインデックス（円換算ベース）に概ね連動させるように運用を行います。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 リスク軽減のためデリバティブ取引を行うことがあります。
分配方針	毎決算時（原則毎年12月5日、休業日の場合には翌営業日）に、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の中から市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配を行わない場合があります。分配にあてなかった利益の運用については特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

※資金動向、信託財産の規模および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## (参考情報) 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	43.4	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△31.5	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	11.0	20.3	21.4	12.5	2.3	9.3	6.8

\* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\* 2012年12月から2017年11月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

\* 騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。

\* 騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

### ■ 各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円換算ベース)

(注1) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

(注2) 詳細は最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご覧ください。



## ファンドデータ

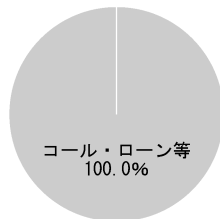
## 当ファンドの組入資産の内容

(2017年12月5日現在)

## ■組入上位ファンド（銘柄数：一）

償還時における有価証券等の組入れはありません。

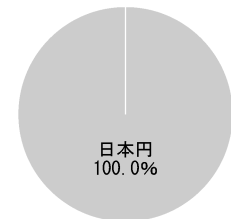
## ■資産別配分



## ■国別配分

償還時における有価証券等の組入れはありません。

## ■通貨別配分



(注1) 「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書（全体版）」でご覧いただけます。

## 純資産等

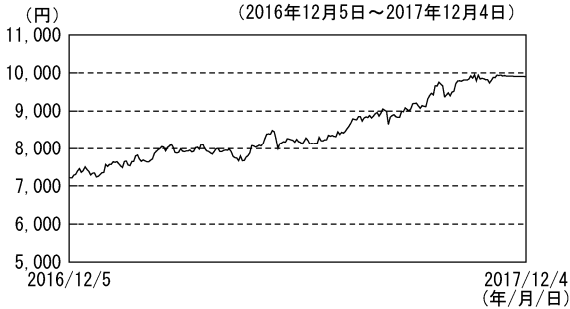
項目	第10期末（償還日） 2017年12月5日
純資産総額	2,702,363,203円
受益権総口数	3,085,367,311口
1万口当たり償還価額	8,758円64銭

(注) 当期（第10期）中における追加設定元本額は4,333,614円、同解約元本額は1,173,842,697円です。

## 組入上位ファンドの概要

<UBS BRICマザーファンド>  
(2017年12月4日現在)

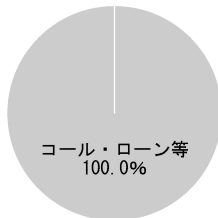
### ■ 基準価額の推移



### ■ 組入上位銘柄 (銘柄数: 一)

償還時における有価証券等の組入れはありません。

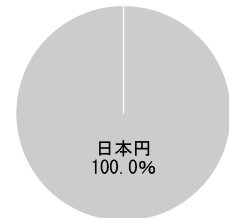
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分

償還時における有価証券等の組入れはありません。

### ■ 通貨別配分



(注1) 「基準価額の推移」はマザーファンドの直近の計算期間、「組入上位銘柄」、「資産別配分」、「国別配分」、「通貨別配分」はマザーファンドの直近の決算日現在のものです。

(注2) 「組入上位銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国別配分」の比率はマザーファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 「国別配分」は、発行国または投資国を表示しております。

(注4) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書(全体版)」をご覧ください。

## ■1万口当たりの費用明細

項目	当期 2016/12/6~2017/12/4	
	金額	比率
売買委託手数料 (株式)	3円 ( 3)	0.034% (0.034)
有価証券取引税 (株式)	8 ( 8)	0.095 (0.095)
その他費用 (保管費用) (その他)	58 (49) (10)	0.684 (0.567) (0.117)
合計	69	0.813

※期中の平均基準価額は8,547円です。

(注1) 「1万口当たりの費用明細」は、マザーファンドの直近の計算期間のものです。費用項目の概要については、2ページ「1万口当たりの費用明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

※当マザーファンドの運用経過につきましては、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

- ・ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）  
東証株価指数（TOPIX）に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社東京証券取引所に帰属します。
- ・ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）
- ・ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）  
MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
- ・ NOMURA-BPI国債  
NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。
- ・ シティ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）  
シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- ・ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円換算ベース）  
JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。